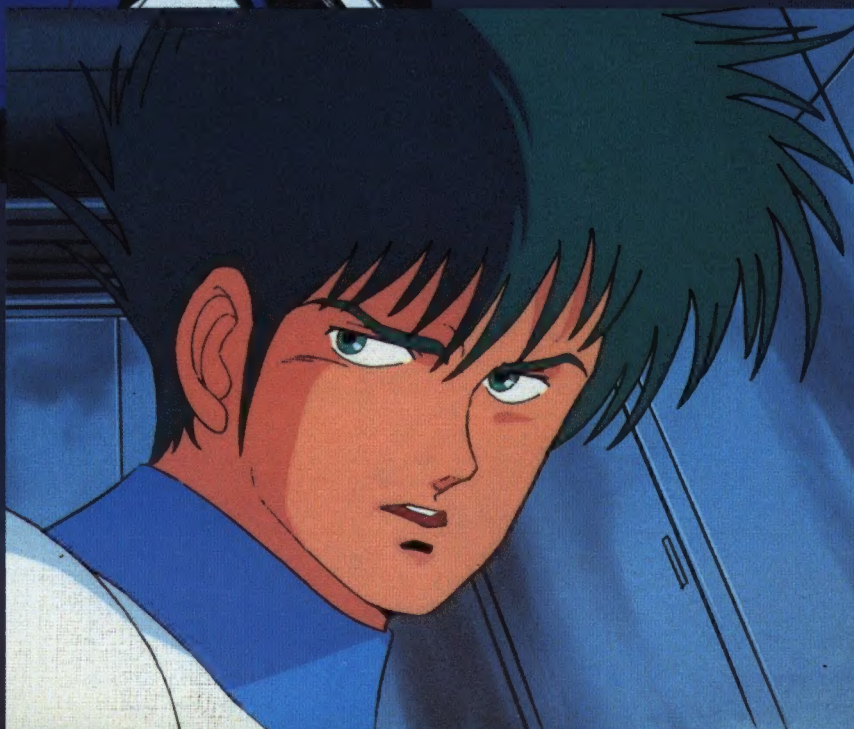
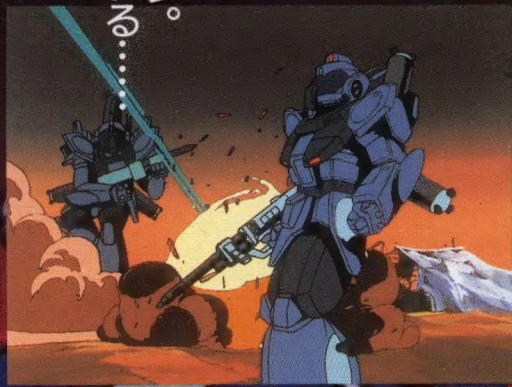
蒼き流星
レイズナー
SPT
REVIEW
BOOK
Look Back
to the
Exciting
24
Stories

回想

1996年10月3日。火星の国連基地に向かっていた私達を最初に出迎えたのは、アメリカ軍のスクランブルでした。そして二大大国の軍事競争は、月から更には火星にまで拡がり、両国の軍事基地が宇宙にまで緊張を作り出しているのです。地球での現実がそのまま火星にまで及んでいるのを目の当たりにし、これから降り出つ私は何だかとっても不安な気持ちです。
私の名は、アンナ・ステファニー。14歳。

ぼくの名はエイジ。地球は狙われている……

1 あかい星にて

1996年、国連宇宙体験学校の生徒達は、人類がついに進出した火星に来た。しかし、ここでも米ソの冷たい争いは続いていたのだった。
基地スタッフに歓迎され、火星での生活に胸をふくらませる彼らは、突如見知らぬ敵からの攻撃を受けた。対処する間もなく、建物は破壊され、スタッフも生徒たちも死んでいった。
生き残った人々の前に、ロボットの操縦者の少年が現れる。彼は、アルバトロ・ナル・エイジ・アスカと名のり、地球は狙われていると告げるのだった。

（上）グラドス側一般用SPT・ブレイバー　型式番号SPT-BV-15C、全高・9.61ｍ、全備重量・14.01ｔ　武器は速射型レーザード・ガン
（右）グラドス側ゲイル用SPT・クライムカイザル。型式番号SPT-GK-10U　全高・9.56ｍ、全備重量・13.88ｔ、武器は拡散型レーザード・カン
（右端）エイジ用SPT・レイズナー　型式番号SPT-LZ-00X、全高・9.52ｍ、全備重量・13.75ｔ　武器は速射レーザード・ライフル　V-MAX機構を装備

2 彼の名はエイジ

地球人の前に現れたエイジは、彼の言葉を信じられぬ彼らに拘禁されそうになるが、再度の敵攻撃を知り、レイズナーで飛び立つ。自分をおとりに、敵を基地から引き離そうとするエイジに、グラドス軍の隊長ゲイルは、投降を呼びかける。
打つ手のない国連スタッフは、USA基地へ移動するため、外に出たところを発見されてしまった。地球人をせんめつするため急行するゲイル。エイジもまた基地にむかい、彼らを助けるため、身を賭してゲイルの攻撃を防ごうとする。その必死の姿を見たゲイルは、それ以上の破壊をやめ、帰還していった。

（下）グラドス側ゴステロ用SPT・ブルグレン　型式番号・SPT-BG-91U　全高・9.78m、全備重量・16.29t　武器は高出力レーザード・ライフル

その瞳を信じて 3

グラドスの目的は地球征圧にある。エイジからそう聞かされても、地球人には信じられないことだった。ただひとりアンナを除いては。

ゲイルにかわって火星に降りたゴステロは、人を殺せぬエイジと無防備の地球人をなぶるように攻めたてる。基地をズタズタにされた地球人は、基地の核ボイラーを爆発させ、難をのがれたのだった。

心のこしての脱出 4

エイジを後に残してUSA基地に急ぐアンナたちは、なにかわり切れぬものを感じていた。

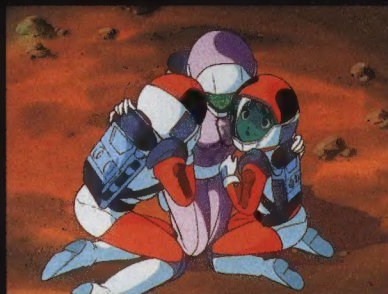
エイジは廃墟の基地に潜み、ゴステロの部下ガステンを人質にとるが、意に介さぬゴステロは、ガステンもろともエイジを撃つ。たちまち追いつめられたエイジを、見捨てられた怒りに燃えるガステンが救ったが、ゴステロにまっ殺されてしまった。

その頃アンナたちは、敵に見つかっていた。

まもられても、なお…… 5

エイジに守られながら、アンナたちは観測基地に逃げこんだ。次第にエイジを信じ始めた彼らの中で、親友を殺されたデビッドは、エイジをなぐりつけた。

執拗に彼らをつけ狙うゴステロは、ひとりひとりを殺すことで、彼らを恐怖のとりこにしていく。基地スタッフが次々にたおれながらも、アンナたちはUSA基地が見えるところまで来た。安堵するみんな

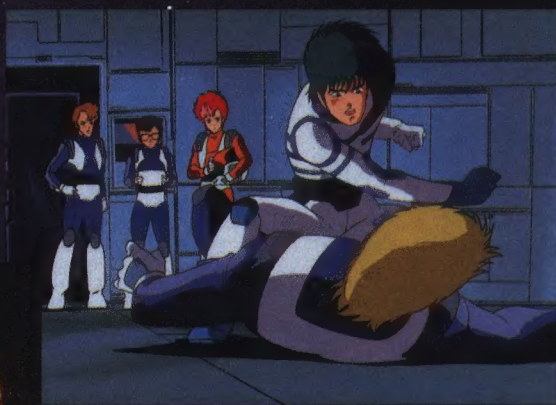
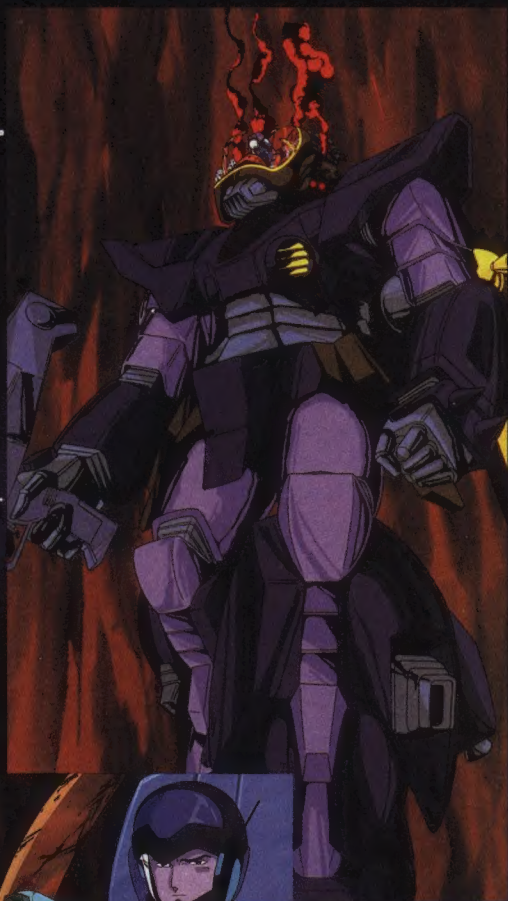
だが、彼らが見たものは、核ミサイルの閃光に消える基地の姿だった。

6 とり残されて

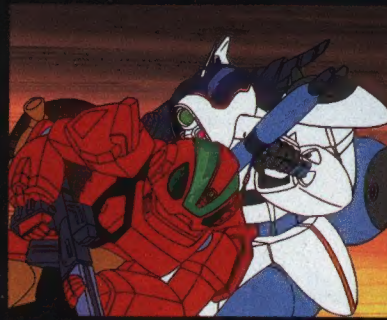
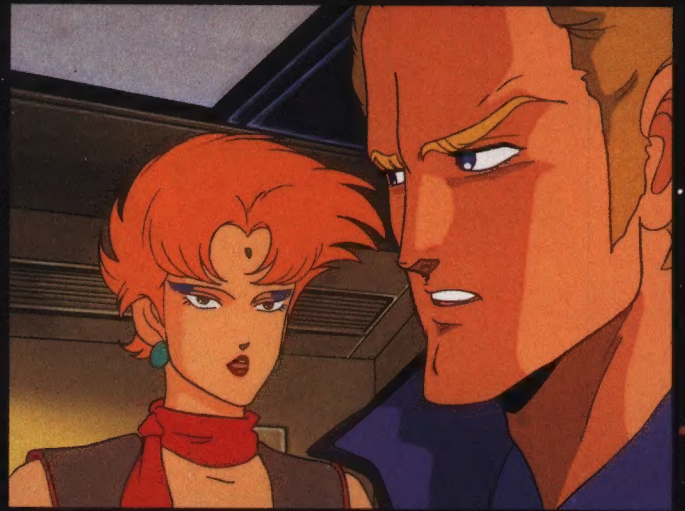
アメリカ基地に着いたアンナたちは、中の目をおおわんばかりの光景に言葉もない。

エネルギー補給にシャトルへむかうエイジは、地球人を殺さぬようゴステロに呼びかける。2人のやりとりから、ガステンがゴステロに殺されたことを知ったロベリアは、彼に襲いかかるが、やられてしまった。その隙にバルディに乗り替えたエイジがブルグレンを粉砕、呪みの言葉を残してゴステロは消えた。

血はあかかった

米ソ両基地の壊滅を確認したグレスコは、地球にむかうことを決定した。そしてエイジ討伐に再びゲイルを任命したが、ゴステロは、エイジとゲイルを殺すため、ひそかにSPTに乗り込んだ。

エイジは、アンナたちとシャトルで月にむかおうとするが、3人しか生還できないことを知る。そのとき、エイジに助けてもらうことにたえ切れなくなったデビッドの拳が、エイジを殴る。終わることのない戦いの果てに、みんなが見たものは、口から流れるエイジの赤い血だった！

彼の叫びに応えて 8

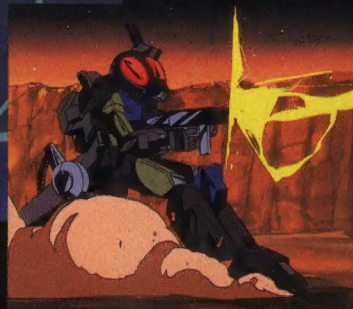
またもエイジと相対したゲイルは、ゴステロの部下殺しを知るが、ゴステロの不意打ちで動けなくなった。エイジはゴステロに挑みかかるが、ゲイルをかばいながらの不利な戦いを強いられる。追いつめられたエイジは、アンナたちにゲイルの救助を求め、デビッドが飛び出していった。彼もろともゲイルを殺そうとするゴステロに銃を向けるエイジ。ゴステロが撃ったその瞬間、レイズナーのビームがブルグレンを貫いていた。

9 生きる道を求めて

エリザベスの頼みを受け、エイジはデビッド達にSPTの操縦法を教える。そこに、ゲイルの部下カルラが出撃してきた。地上と空の2面から攻撃されるエイジは、目標が絞り込めぬ上、ゴステロを撃ってしまったショックが抜けきれず、撃つことができない。カルラにつかまったエイジを、デビッドとロアンのSPTが助けたのだった。

10 エイジ!?と呼んだ

デビッドとロアンは、SPTの訓練から、エイジに人が殺せないことを知った。

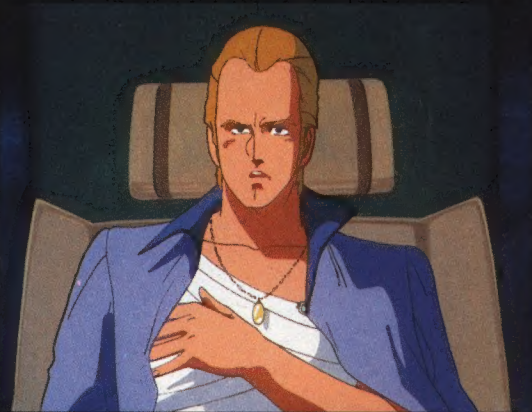
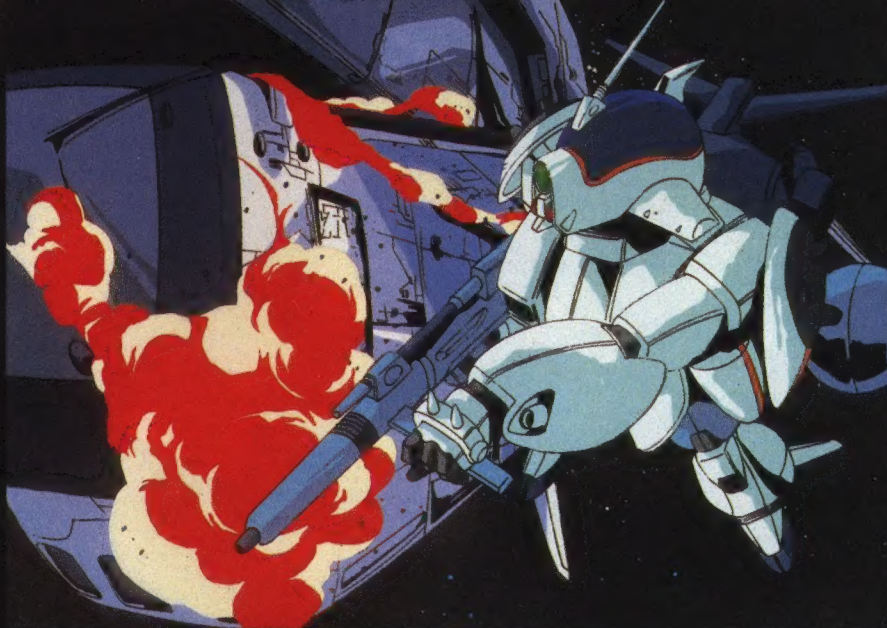
シモーヌの発案で開かれた晩さん会で、緊張していたみんなの心がほぐれ、彼らはついに、エイジの名を口にする。そこにはもはや重いわだかまりはなかった。

雪辱を期して出撃したカルラは、デビットたちの未熟な腕につけ込み、総攻撃をかけたが、正体不明の宇宙船の出現に撤退していった。

（上）グラトス側地上用SPT・ドトール（右）グラトス側宇宙用SPT・ディマージュ（下）ロアン用SPT・バルディとデビッド用SPT・ベイブル（右側）レイズナーのバリエーション・タイプだ

11 地球の艦が来た！

エリザベスは、米軍輸送船との通信に成功した。しかし、誰ひとり彼女の話を真剣に聞こうとはしなかった。

船の調査に来たカルラ隊は、先走った部下をひとり失ったが、何もせずに引き揚げた。それを乗組員は自分たちの実力と早合点していた。

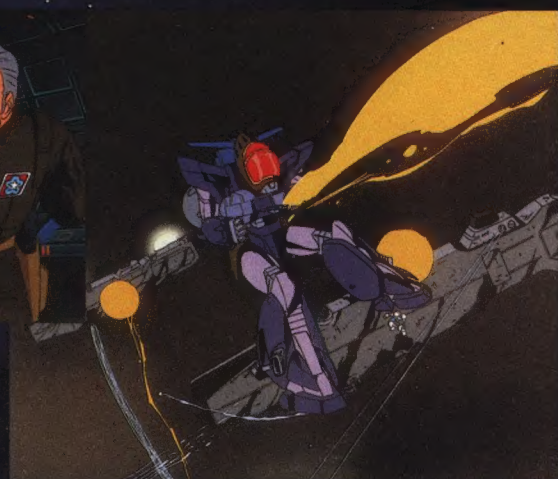
火星に降りたダニー少佐は、エイジを逮捕しようとするが子供たちに阻まれ、ひとり帰っていった。

12 さよならの赤い星

輸送船の実力を分析したクレスコはゲイルに攻撃を命じた。たった3機のSPTに船は宇宙のもくずと消え、エイジはタニーを助け出したのみだった。

火星に着陸し、エイジから事の次第を聞いたタニーは、エイジのシャトルで米軍艦隊へ行くことを決め、エイジ、デビッド、ロアンを連れていこうとする。残ったエリザベスたちは、エイジと行動を共にするため、シャトルに乗り、悲劇の星を後にした。

13 宇宙にむなしく

火星を脱出し、アメリカ艦隊と合流しようとしたエイジたちの言葉を信じなかった軍人は、そのむくいとしてゲイル隊のえじきとなった。次いで接触したソ連軍は、彼らの持つ情報を利用し、うまく立ちまわることのみを考え、アメリカ軍と同じ運命をたどる。

同朋にすら裏切られ、絶望するダニー少佐は、来たるべき地球の姿を予感し、エイジらのお互いを信じあう心に最後の希望を託して、炎の中に消えていった。

14 異星人に囚われて

ついにゲイルに追いつかれたエイジたちのシャトル・エネルギーも底をつき、進退極まったエイジは、仲間のために投降した。

正当な捕虜として彼らを扱おうとするゲイルに反発したカルラは、エイジの姉、ゲイルの恋人であるジュリアへの嫉妬心も手伝い、彼らを処刑しようとしたが、逆に人質にとられ、エイジたちを解放させてしまった。

……なんという、浄らかで、美しい光なんだ……お前が命をかけて守ろうとする……あれが地球か……ジュリア……

15 蒼き流星となって

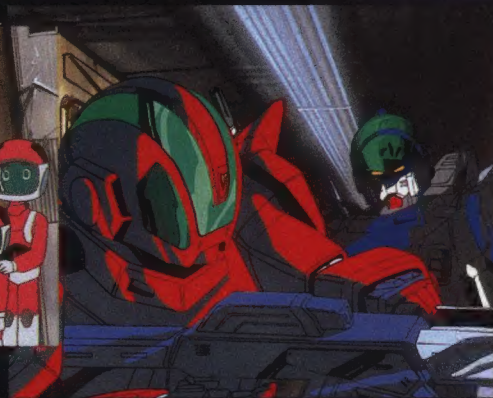
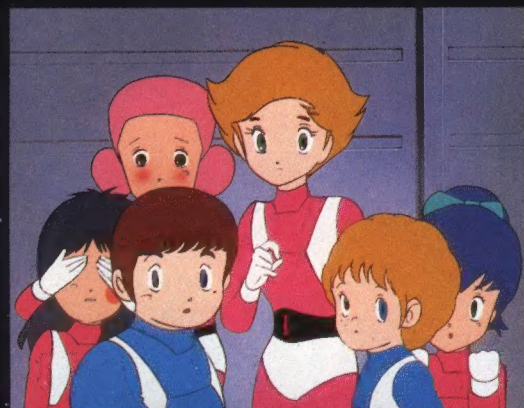
公平な戦いでエイジを倒そうと決心した、ゲイルの真の実力の前には、地球の軍艦など張り子の虎であった。持てる力をふり絞って戦うエイジでも、万にひとつの可能性もない。しかし、絶体絶命の危機に、レイズナーの秘密兵器V-MAXが発動し、グライムカイザルを完全に破壊した。暗闇に消えるゲイルを見つつ、動けぬエイジは泣き叫ぶばかりだった。

ゲイル先輩！うわあああああ!!

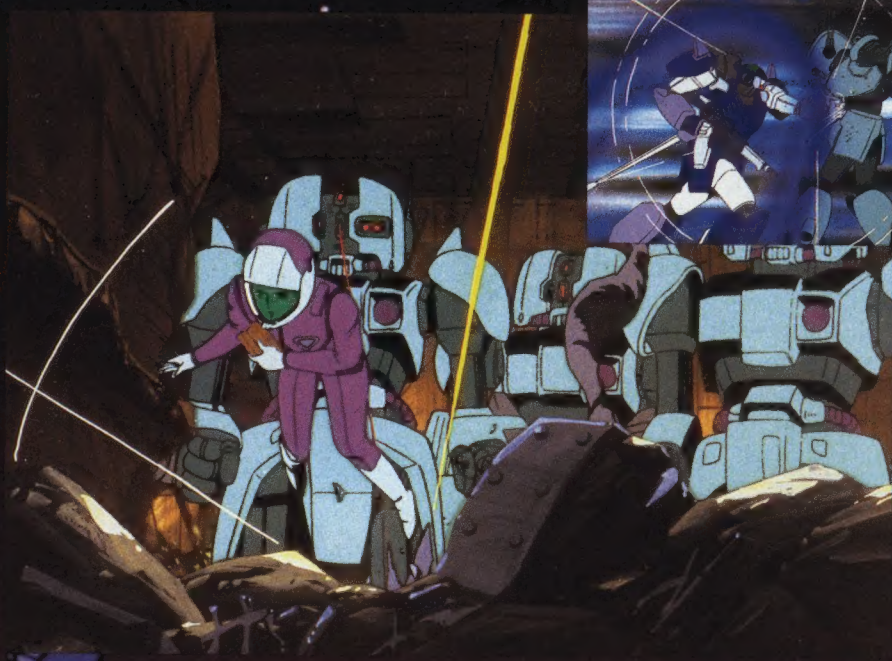
16 月よ！こたえて

エイジが、ゲイルを殺してしまったショックに打ちひしがれている間に、シャトルは月に降りたった。しかし、体験学校の訓練で半年間を過ごした思い出の地、月は、火星と同じくがれきの山が続き、人の気配もなかった。

SPTで偵察に出たエイジとデビッドは、2人を敵と間違え攻撃してくる、エリザベスの元恋人、クレイトンと8人の子供たちと出会った。気まずい再会をはたす2人とそれを見つめる子供たち。その時、彼らの耳に、不気味な金属音が響いていた。

(左)グラドス側無人TS(テラ・ストライカー)・スカルガンナー。型式番号TS-SG-50C。全高9・76m、全備重量14・52t

17 群がる殺人機

スカルガンナーから身を守るため、子供に銃を持たせ、自らも狂ったように攻撃し続けるクレイトンに、エリザベスは心を痛める。それでも2人の間の溝は、今もそのままだった。エイジたちに護衛を頼み、エリザベスはクレイトンをシャトルにたち案内する。破壊されても攻撃をやめないスカルガンナーに、エイジたちもエリザベスたちも苦しめられつつ、シャトルにたどり着くのだった。

（左）グラドス側ジュリア用SPT・ブラッディカイサル　ケイル用SPT・クライムカイサルと同型で、赤いボディ・カラーリングが〝血だらけのカイサル〟の名前を表わしている

18 そして地球へ

エイジの説得のために、グレスコの元に送られてきたジュリアは、カルラの口から、ケイルがエイジに殺されたと告げられ、言葉を失った。

その頃、月では、失明寸前のクレイトンの治療のため、エリザベスが無断で地下都市に潜入したところを、スカルガンナーに発見され、デビッドに助けられた。シャトルもまたスカルガンナーに包囲されたが、エイジはわざとレイズナーを危機に誘いこみ、V−MAXを発動させた。彼も知らないレイズナーの秘密に疑問を感じつつ、月を後に、夢にまで見た父の故郷、地球へ飛んでいった。

19 とどかぬ想い

国連基地にむかうエイジは、父の親友だったギルバート博士を知った。

シャトルを追ってきたグラドス軍の中に、ブラッディカイザルを認めたエイジは、ケイルが生きていたと思い、呼びかけるが、答えは返ってこなかった。

救援に来たアメリカ軍に、シャトルはエドワーズ基地に降ろされる。軍はエイジを隔離し、レイズナーの解体調査を始めようとしていた。

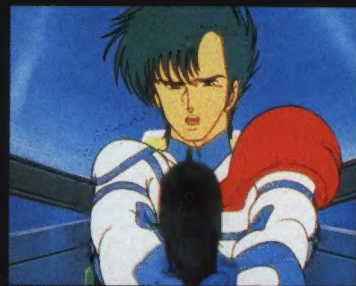
20 レイズナーの怒り

アメリカ軍は、エイジだけではなく、アンナたちにも尋問を繰り返したあげく解放したが、エイジを想うシモーヌは基地に残り、そんな彼女にアンナは嫉妬心を感じてしまう。

SPTを調査中の技術者たちは、レイズナーのブラックボックスの解明のため、解体を開始したところ、レイズナーはV　MAXを発動し、基地を壊滅寸前に追いこむ。その姿に、エイジはレイズナーの秘密の解明を決心していた。

我が名はフォロン

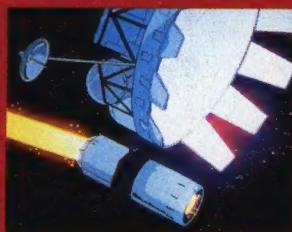
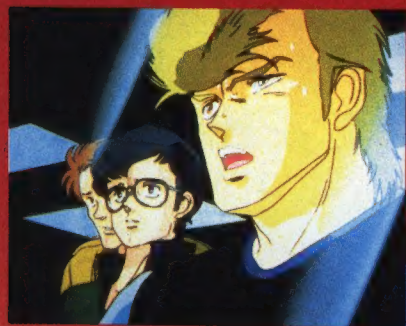
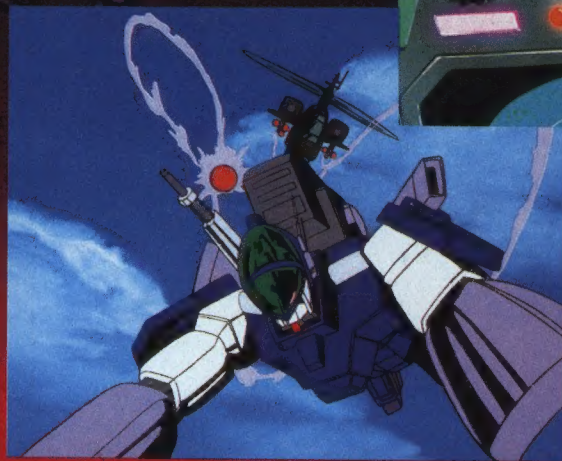
レイズナーに乗りこんだエイジは、レイとは違うコンピュータを表に引きずり出すため、コクピットに銃弾を撃ちこむ。ついにしゃべり始めたそれは、フォロンと名のり、彼にグラドス創成の秘密を伝える。それを知ったエイジは、地球人にとりあえず降服しろと呼びかけ、彼らの怒りを買って宇宙へ逃げた。彼はグレスコに攻撃中止を要求するが、その返答は敵SPTの接近だった。

21

フォロン
エイジの父、ケン・アスカが秘かにレイズナーに取りつけたコンピュータ。グラドス人の祖先は、5万年前の地球人であるという。グラドスの最高機密をインプットされており、その保存を至上目的としている。そのため、レイズナーの危機には、独断でV MAXを発動するのだ。

フォロンとの対決

22

エイジをとり逃がし、帰投したジュリアに、カルラは自分とゲイルに関係があったとうそをつくが、彼女は相手にしなかった。

フォロンと対話を続けるエイジは、グラドスの秘密の保存のためなら殺りくも辞さないフォロンに怒り、自分を撃てと迫る。フォロンは、1度は彼に銃口をむけるが、グラドスと地球の理解の道を追い求める彼に、レイズナーの全機能をゆだねる。そこに、ジュリアの乗ったブラッディカイザルがむかってきた。

奇跡を求めて

エイジを追って地球に来たジュリアは、味方の攻撃により海中に落下した。海を通して地球の美しさに触れた彼女は、レイズナーのメモリーから流れるゲイルの最後の言葉に涙した。

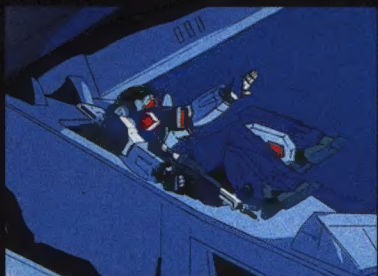
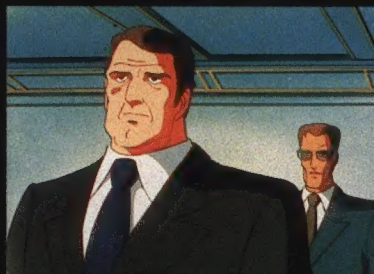
グレスコは、地球のオゾン層を破壊し、地表を焼き尽す作戦を実行に移す。地球のあらゆる兵器の無力を思いしらされた大統領は、デビッドたちに出撃を要請、彼らのシャトルは飛びたっていった。

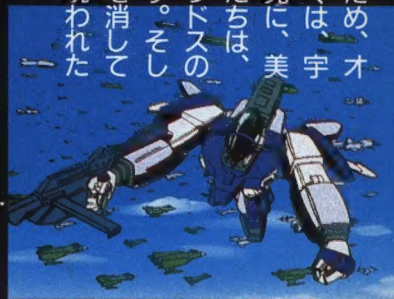
23

地球は本当にダメになると思う？
そんなことないわね
私は信じているの
あなたも信じて
一輪だけ私にちょうだい……
あげたい人がいるの……
……ごめんね……

24 光になったエイジ

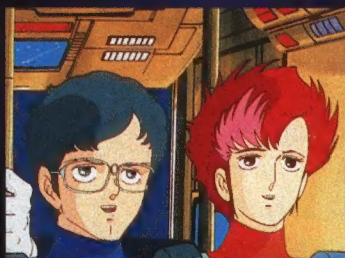
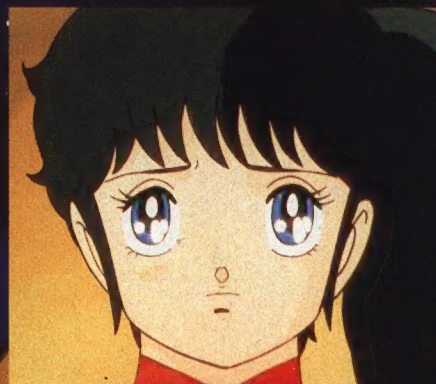
グラドスは、地球を征服するため、オゾン層を破壊し始めました。人々は、宇宙からの放射能に灼かれ、街は死に、美しい自然も破壊されました。私たちは、地球そのものを守るために、グラドスの攻撃衛星めざして出発したのです。そして、その時、私たちの前から姿を消していたエイジがレイズナーと共に現われたのでした――

2 シャトルに収容されるレイズナー

1 "デビッド、ロアン聞こえるか!? シモーヌ、アーサー、アンナみんなそこにいるのか? ドクターもですか? ぼくも今、合流します"エイジの声がシャトル内にこだまする……

3 「彼が、エイジ・アスカが子供達と合流しました」エイジの帰還をデリンジャー米大統領に告げるマース米国防長官

4 デビッド、ロアンら一同の前に姿を見せるエイジ

6 アーサー「これで本当に奇蹟が起こせるかも知れないな」微笑をうかべかけるエイジ、だが

5 一同の顔が輝いて――
デビッド「エイジ……!」
ロアン「きっと、来てくれると思っていました」

7 そこにアンナを見て表情を硬張らせた。
エイジ「アンナ……、君まで!」
震える瞳で見つめるアンナ

8 シモーヌ「私達は、火星以来、自分達のことは自分達で決めて来たわ。今度もそうよ」

9 デビッド「俺たち、誰もが死を覚悟して、でも、万に一つの奇蹟を信じて乗り込んできたんだ」
エイジ「奇蹟……」

10 エリザベス「そう、火星で生き残った私たちはエイジ、あなたに助けられた。そして、生きて地球に還れたのは奇蹟――」

4シャトルを攻撃するS.P.T.
ロアン「もういいです！　解除して下さい！」

6エイジ「限界です、ドクター。ロックを解除して下さい！」
エリザベス「気をつけて！」

ぼくには、美しい地球を美しいままに守る義務がある！ゲルラ王女との約束と、ジュリア姉さんの為にも！

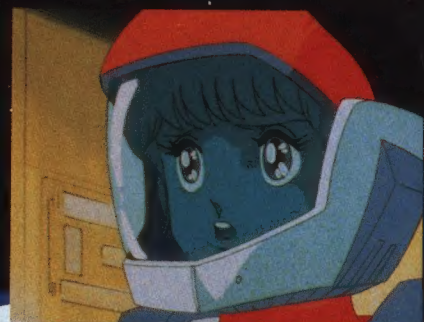
11デビッド「バカヤローッ！ カッコつけるなッ！」ロアン「命は、ひとつですよッ！」エイジ「よく、判っている。でも……ぼくは君たちと知りあえて本当によかった」

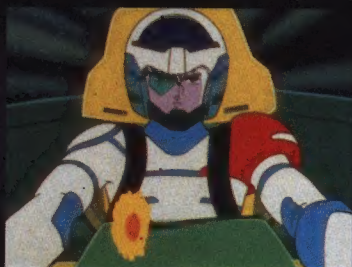
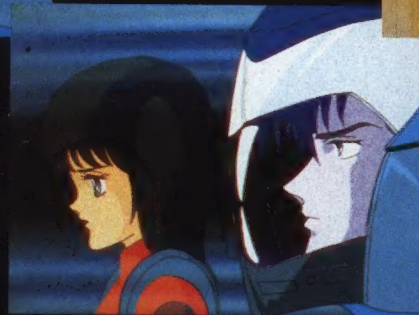
ぼくは、地球と、そこに住む仲間の命を失っても後悔はしない

12エイジ「アンナ……この、かわいい花の名前を聞くの忘れていたよ」

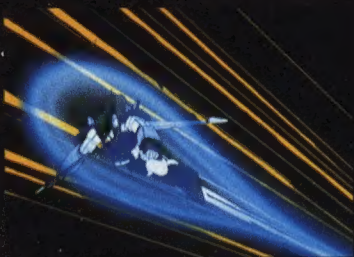
……昔、むかし、とても愛し合っている男のひとと女のひとがいました

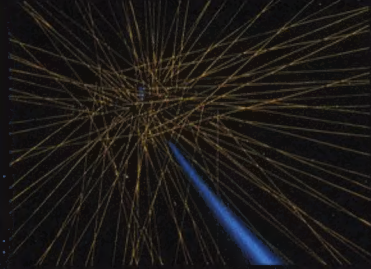
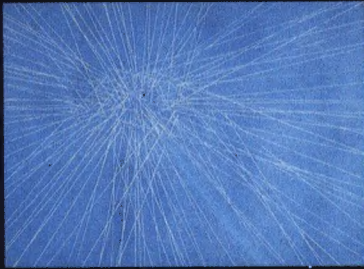
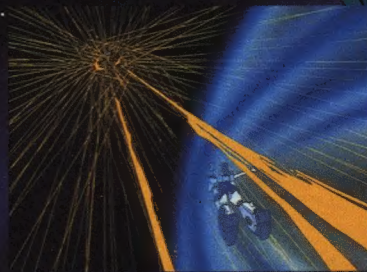
でも、男のひとは、もっと沢山の幸せを手に入れる為に遠くへ行きました

女のひとは信じて待ちました。何日も、何か月も、何年も……そうして、白い雛菊の花になりました……

雛菊……ありがとう

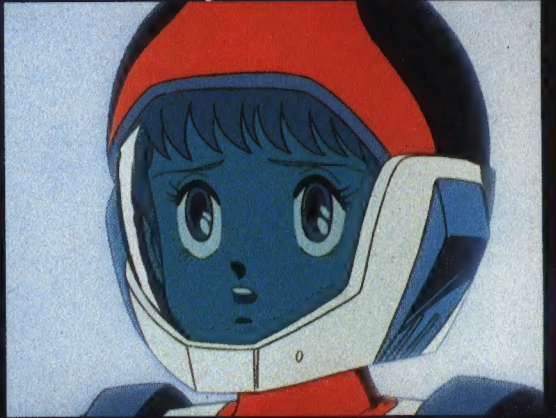
レイスナーを粉砕しろ！二度と甦ることのないよう、粉々にだ！

14レイズナーを迎えるグレスコ母艦の超兵器

13グレスコ母艦めざして宇宙空間を突き進むレイズナー

行くぞ！ レイ！
地球を守るための戦いは
今、始まるんだ！

──死にはしない！

1 グレスコ軍の総攻撃の中を突き進むレイズナー

2 突っ込んでゆくレイズナー。やがて、凄しい閃光が宇宙に広がる……

このまま死んでたまるかーーッ！

嘘！ 嘘です！
エイジは、きっと生きています
きっと……
だって、あの人は
生きてこの地球とグラドスの
愛の架け橋となる宿命を背負っているのです
だから、きっと、きっと……
……私は、信じています……

3 凄しい閃光に包まれるアンナ

注・最後のアンナのナレーションはシナリオにそっています

EDITORIAL STAFF
●構成・徳木吉春
●協力・菊川幸夫
●レイアウト・庄内 真

……昔、むかし
とても愛し合っている
男のひとと女のひとがいました……

でも、男のひとは
もっと沢山の幸せを手に入れる為に
遠くへ行きました

女のひとは信じていました
何日も、何か月も、何年も……
そうして
白い雛菊の花になりました……

雛菊……ありがとう

Animage '86 5月号第1ふろく

昭和61年5月10日発行(毎月1回10日発行)第9巻第5号 昭和60年5月15日国鉄首都特別扱承認雑誌第7532号